

## 過労死防止学会第2回大会プログラム (敬称略、家は家族の会、研は研究者、弁は弁護士)

第1日 [5月21日(土)] 午後の部 13:00~17:00

韓国とフランスは報告30分+通訳30分 13:00~13:10 開会挨拶と解題

日本13:10~13:40 韓国13:40~14:40、休憩14:40~15:00 フランス15:00~16:00 討論16:00~17:00

国際シンポジウム(日、韓、仏): 過重労働による健康障害と労働時間規制

司会: 脇田滋(研) 清水耕一(研)

韓国語の通訳は呉民淑(オ・ミンスク、労組書記)。英仏語の通訳は須田洋平(弁)

第2学舎C棟 304教室  
(控え室 301教室)

日本: 天笠 崇 代々木病院精神科医師

精神医学から見た日本の過労自殺対策と過労死防止法

韓国: イム・サンヒョク 労働環境健康研究所所長

韓国における過労死問題の現状と課題

フランス: セバスチャン・ルシュバリエ 国立社会科学高等研究院教授

フランスの週35時間制: 時短の一方で労働強度の増大と作業組織の再編で高まるストレス

会員総会 17:10~18:00

第2学舎C棟 304教室

懇親会 18:30~20:30

経商食堂 第2学舎C棟1階

第2日 [5月22日(日)] 午前の部 9:30~12:00

各報告の持ち時間(報告30分+質疑10分)

第1報告 9:40~10:20、第2報告 10:25~11:05、第3報告 11:10~11:50

第1分科会 道路旅客運送業の労働実態と時間規制 司会: 中原のり子(家) 助言者: 川人博(弁)

100周年記念会館  
第2会議室

1. 松下末宏(自交総連大阪地連): 軽井沢スキーバス転落事故について
2. 中部 剛(神戸新聞記者): 西日本高速過労死事件にみる休息の取れない勤務体制
3. 森岡孝二(関西大学・名): 道路貨物・旅客運送業の超長時間労働の実態

第2分科会 教員の過重労働と公務災害 司会: 成瀬龍夫(研) 助言者: 松丸正(弁)

100周年記念会館  
第3会議室

1. 中野淑子(東京家族の会): 公務災害認定に係る諸問題と課題
2. 尾崎正典(静岡家族の会): 障害者支援教室で発生した公務災害
3. 前川珠子(東北希望の会): 東北大学教員の過労死事件について

第3分科会 ホワイトカラーの労働時間管理 司会: 寺西笑子(家) 助言者: 櫻井純理(研)

100周年記念会館  
第4会議室

1. 石川啓雅(政治経済研究所): 技術サービスにおける労働(残業)時間管理の問題点  
—建設・土木の調査設計業を事例にして—
2. 松浦 章(兵庫県立大学客員研究員): ホワイトカラーの長時間労働と「裁量労働制」
3. 渡辺喜代子(東京家族の会): 商社の過労死事件における企業の責任と義務

第4分科会 若者の過重労働 司会: 青木圭介(研) 助言者: 中西 基(弁)

100周年記念会館  
第5・6会議室

1. 大利英昭(東京都庁職員労働組合病院支部): 新人看護師の超勤実態と過労
2. 色部 祐(いの健東京センター): 外国人技能実習生の労災問題について
3. 中澤 誠(東京新聞記者): ワタミ過労死事件と和解の社会的意義

第2日 [5月22日(日)] 午後の部 13:00~16:30 司会: 西谷 敏(研) 上出恭子(弁)

共通論題 過労死防止法・大綱と労働時間の制限・短縮

第2学舎B棟 401教室  
(F棟402教室から変更)

<報告者>

岩城穰(過労死防止全国センター): 過労死防止法と大綱の意義と課題について

西垣迪世(兵庫家族の会): 兵庫県における過労死防止の取り組みの経過と現状

秋山正臣(全労働省労働組合): 長時間労働の解消と過労死防止の課題

<予定討論者とコメントの主な論点>

柏原英人(過労死防止大阪センター): 過労死防止活動と長時間労働改善の展望

伍賀一道(金沢大学・名): 雇用・労働の規制緩和と過労死問題